

平成 27 年度 第 1 回 日進市立図書館協議会議事録

日 時	平成 27 年 6 月 24 日(水) 会議：午後 3 時 00 分から午後 4 時 50 分まで
場 所	図書館 2 階 会議室
委員出席者 (順不同)	宮道弘巳委員（委員長）、浜田明菜委員、宮澤明倫委員、鬼頭さゑ子委員、福永智子委員、大久保恵理子委員、服部武委員、水藤芳枝委員、近藤洋子委員
委員欠席者	市川速瀬委員（副委員長）
事 務 局	青山雅道（教育長）、西村幸三（教育部担当部長）、市川学（館長）、丹羽陽一（主幹）、梅村英子（館長補佐）、杉本英樹（主査）
傍聴の可否	可
傍聴の有無	無
次 第	1 あいさつ 2 委員任命及び自己紹介 3 委員長、副委員長選任 4 議題 (1) 平成 26 年度事業実績について (2) 平成 27 年度事業計画について (3) 子ども読書活動推進計画について 5 その他
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年度図書館事業報告</li> <li>・平成 27 年度図書館事業計画</li> <li>・参考資料</li> <li>・関係法令抜粋</li> <li>・子ども読書活動推進計画関係（資料 1～3）</li> <li>・日進市子どもの読書についてのアンケート</li> </ul>
発 言 者	内 容
事務局	開 会（午後 3 時 00 分） <p>ただ今より平成 27 年度第 1 回図書館協議会を開催させていただきます。お手元の次第に沿って進めさせていただきますので、よろしくお願ひします。それでは始めに青山教育長よりごあいさつをお願いします。</p>
教育長	(あいさつ)
事務局	ありがとうございました。それでは、次第の 2 に移ります。 <p>本日、お集まりになられました委員の皆様には、これから 2 年間図書館協議会委員をお願いするのですが、5 人の委員の方が継続となり、との 5 人の委員の方が新任となります。委員の皆様にはお手元に任命書を配らせていただいておりますので、ご確認をお願いします。</p>

	<p>それでは、委員が入れ替わり、最初の図書館協議会となりますので、簡単に自己紹介を全員の皆様にお願いしたいと思います。</p> <p>(委員と職員の自己紹介)</p>
事務局	<p>続きまして、次第3に移ります。委員長選出にあたり、本年度最初の図書館協議会となりますので、簡単に図書館協議会について、ご説明させていただきます。</p> <p>(「関係法令抜粋」資料を基に図書館協議会の簡単な説明)</p> <p>日進市立図書館規則第18条の規定により、委員の互選により、委員長及び副委員長を置くということになっております。この件につきまして、委員の皆さん、いかがいたしましょうか？</p>
委員	事務局に何か案はございますか。
事務局	<p>事務局からご提案させていただくことは、せん越ではございますが、これまでの慣例で、委員長につきましては学校長にお願いしております。今回は、新委員となられました竹の山小学校長にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
事務局	<p>ご承認、有り難うございます。それでは、宮道委員に委員長をお願いいたします。次に副委員長ですが、継続委員の中で本日は欠席されてますが、市川委員にお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
	<p>ご承認、有り難うございます。それでは、市川委員に副委員長をお願いいたしますので、市川委員には後日、事務局のほうから連絡させていただきます。</p> <p>それでは、宮道委員長に席のご移動をお願いいたします。</p> <p>(委員長、席の移動)</p>
委員長	<p>委員長が承認されましたので、これから議事進行は委員長にお願いします。</p> <p>(あいさつ)</p> <p>議題（1）平成26年度事業実績について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	お手元の図書館事業報告をご覧ください。主な実績数値に関しましてご説

	<p>明させていただきます。</p> <p>まず、延べ貸出利用者件数は、平成 27 年 3 月末現在で 242,133 件で、平成 25 年度と比較すると 1,600 件増えております。登録者数は 39,082 人で、平成 25 年度から 1,007 人増えております。</p> <p>貸出点数は 1,138,395 点で、平成 25 年度から約 17,805 点減っております。施設利用状況として、入館者数は 570,802 人で、平成 25 年度から 22,606 人減っております。入館者数は減っていますが、貸出利用者数が増えている状況ですので、学習室の利用者の変動や、駐車場の混雑により入館を見合わせたりしたことにより入館者数が減少したものではないかと思われます。</p> <p>設備備品の利用状況につきましては、無線 LAN の利用件数が昨年の倍増となっています。これは、平成 26 年に図書館システムを更新した際に、机に敷かれた LAN シートを利用して持ち込みのパソコンが利用できるようになったことによるものです。</p> <p>11 月に実施された図書館総点検の期間には新システムの導入を行い、本の再貸出し手続き及び上下巻のシリーズ本の予約手続きがインターネットで可能になりました。また、CD, DVD の予約も 1 点に限りできるようになりました。</p> <p>平成 25 年度の全国における人口 6 万人以上 10 万人未満の単独館での貸出点数の順位は 1 位となっておりますが、対象となる図書館全体の貸出点数が下がってきておりますので今後の課題と考えております。</p> <p>平成 26 年度実績で主なものは以上となります。</p>
委員長	ありがとうございました。ただいまの報告について、ご質問あるいはご意見等ございましたらお願いしたいと思います。
委員	入館者数はどのようにカウントされていますか。
事務局	入口ゲートにカウンター機器を設置して計測しております。ただし、同一の方がゲートを通過すればその度カウントされることになるので、実際の入館者数は数字よりもやや少なくなると思われます。
委員	レファレンスは、対応内容等を資料として残したり、文書での問合わせ等様々あると思いますが、どこまでを件数としてカウントしていますか。
事務局	本の蔵書に関する簡単な問合わせ等は件数から除いており、利用者からの調べもの等に対応した件数になります。
委員長	続きまして、議題（2）平成 27 年度事業計画について、事務局からご説明をお願いいたします。
事務局	それでは、平成 27 年度事業計画についてご説明します。資料をご覧ください。平成 27 年度図書館の基本方針及び目標については、昨年度から大きな変更はありません。 重点事項については、多様な図書館サービスの充実として、レファレン

	<p>ス・サービス等の強化および職員研修の充実、点字本・大活字本など多様な形態の図書館資料の充実、おはなし会や人形劇など多様な利用者層に応じたサービスの提供、ボランティアの参加促進、雑誌スポンサー制度の充実、子ども読書活動推進計画の策定などを新たな重点目標に掲げております。</p> <p>また、図書館協議会の開催について、年4回を予定しております。第2回目は他の市町の視察を予定しており、後ほど日程を諮りたいと思います。</p> <p>資料の購入計画については、図書費は9,300点程度、雑誌費は1,900点程度、視聴覚資料費240点程度で、合計11,440点程度となっております。</p> <p>事業については、読み聞かせおはなし会、人形劇、映画会、パソコン相談会、図書館まつり、夜間読み聞かせ会「おはなしのゆうべ」、ボランティア講座や配本事業などを実施する予定です。</p> <p>図書館運営業務として、平成26年8月1日から平成29年7月31日までの3年間、株式会社図書館流通センターに委託する予定です。また、図書館システム更新事業として、プロポーザル方式により導入業者を決定し、平成26年12月1日から5年間の長期継続契約を予定しています。</p>
委員長	ありがとうございました。今のご説明について、何かご質問等のある方はございますか。
委員	図書館から中途失明者へ新刊本などを紹介する方法は何かありますか。視覚障害者向けのサービスとして点字図書の購入、対面朗読などがありますが、図書館としてこんな本が出た等のPR方法を検討していただけたらと思います。
事務局	紹介方法については経費面等で制約があるかもしれません、検討していくたいと思います。他市の取り組み等でご存知あれば、ご紹介いただきたいと思います。
委員	「おはなしのゆうべ」に関して、地域の方々にパンフレットの配布等で大変熱心にPRしているボランティアの方が見えますので、熱心さに頭が下がる思いがします。
委員	P2の資料購入計画について、児童図書は1点あたり1,000円ということになりますか。資料費としては全体としてどれくらいの金額になりますか。
事務局	購入金額については今すぐには確認がとれませんので、次回からは、金額を入れた資料を作成します。
委員長	他のご意見などはよろしいですか。それでは次に、議題(3)子ども読書活動推進計画について事務局より説明をお願いします。
事務局	まず国が策定しました第三次子ども読書活動推進基本計画の概要について(資料1)、平成13年12月に子どもの読書活動の推進に関する法律が成立し、平成25年までに第三次基本計画が策定済みという経緯になっており

	<p>ます。また、参考2のグラフは、子どもたちが小学校、中学校、高校へと進むにつれて読書しなくなる傾向にあることを示しており、このような現状から子どもの読書活動を推進させることを目的に策定された計画となっております。</p> <p>子どもの読書活動の推進の方策としては5項目で編成され、主に以下の内容を盛り込んでいます。①家庭でのブックスタートなどの読書の習慣づけ②地域における図書館の役割と取組として読書活動に関する情報提供の推進やボランティア活動の促進、また図書館の機能強化として公立図書館の整備や資料の充実③幼稚園、保育所、認定こども園を含む学校等においては読書活動の推進や環境の整備④民間団体等では読書週間等のキャンペーンの実施⑤普及啓発活動として子ども読書の日や団体など優れた取組の奨励など。</p> <p>次に市の計画策定に向けてのスケジュールの説明をします（資料2）。まず図書館としては平成27年4月にアンケート（案）の検討から開始し、7月から10月にかけてアンケート配布、回収及び集計、それと並行して保育園・幼稚園・子育て支援センター・小中高等学校に読書活動調査を実施していきます。11月以降に計画の検討、来年5月にパブリックコメントの実施を経て7月に計画策定を予定しています。また、教育委員会としては6月に校長会へのアンケートの協力依頼、図書館協議会では他市の視察を経てアンケートの集計結果の報告、計画の骨組みや基本理念についてご意見を伺い、来年3月開催予定の第4回では計画の素案について再度ご意見をお伺いします。計画策定までに、市の子ども読書計画に関連する部署で構成される計画策定委員会では3回程度、その下部組織である作業部会では7回程度会議を開催します。</p> <p>続きまして、アンケート実施について（資料3）について説明いたします。調査対象は、小学校については全9校いずれかの学年で全クラス約880名、中学校については全4校2年生で全クラス約878名とします。7月から10月にかけてアンケート配布及び回答結果の分析を行う予定です。</p> <p>アンケートの素案は、年齢・学校別に6種類用意いたしました。内容については3歳児検診・保育園児は家庭での読書状況・環境を把握するもの、小・中学生は読書率や本を読むきっかけの傾向等を聞くものとなっています。</p> <p>小・中学生は結果を比較するために、多少表現は違いますが質問項目は、ほぼ同じものにしてあります。</p> <p>先日開催された第1回作業部会で、市の健康課が実施しているブックスタートを受けたことによる影響を知りたいという声もあり、今日の意見を受けて併せて修正し、7/9の校長会でご確認いただいたうえで、夏休み前に各学校へ配布をしたいと考えております。</p>
委員長	ありがとうございました。ただいまの報告について、ご質問あるいはご意見等ございましたらお願いします。
委員	小学生向けの質問4について「習いごとやクラブ活動でいそがしいから」という部分、低学年が通う地域のクラブ活動は“習いごと”となるため、“習いごと”に統一した方がわかりやすいと思います。

	<p>質問8について、4回のところだけ“毎週”と記入してありますが、誤解釈を生む可能性があると思うので記載しないほうが良いのではないでしょうか。</p>
委員	<p>中学校に限らず、小学校も同じ状況だと思うのですが、朝読書は全校生徒が毎朝参加しているので、それだけで全員が「本を読む」に該当してしまうので、このアンケートでは、朝読書については除いた扱いのほうが良いと思います。</p> <p>また、中学生だと学年により読書の差が大きくあらわれます。1年生は大変よく読むが、2年生から頻度が下がってくるので、そういった点では毎学年別に実施したほうが良いのではと思いました。</p>
委員	<p>3歳児、保育園児向けの質問8と質問9にかけて、やや意図的に本好きな子どもに向けられている感じがするので、もう少し質問の言葉を変えるとか、質問事項を増やすなどの修正があると良いと思いました。</p> <p>また、小学生向けの質問2について選択肢のなかで「読むことがすきだから」と言う部分が、やや主観的な表現という感じがしました。もし家庭環境を知るということが質問の意図ならば、“家族が本を読む姿を良く見る”かどうかを調査したいのしようから、もう少し違う表現になれば良いと思いました。</p>
委員	<p>今のご意見に関連する件で、愛知県の第3次計画でも、「読書が好き」という表現で議論がありましたが、結局そのままの「読書が好き」の表現で落ち着きました。</p>
委員	<p>一般にアンケートには仮説検証型、実態把握型がありますが、今回の場合は後者ですが、それでもある程度の見通し、仮説があるはずです。しかしへスケジュールだと2、3ヶ月後にはすぐに推進計画ができるということで、時間がない。言い回しなどの文言の修正を考えるとアンケートを早く実施すべきだと思います。仮説があれば良いですが、後追いでデータが使用されないか心配しています。</p>
委員	<p>3歳児向けの質問1について、「本が好きですか」を「絵本に興味を持っていますか」という表現にしたほうが良いと感じました。それから、3歳児と保育園児向けの質問7について、「インターネットで購入」という項目を追加したらいいと思います。「その他」に入るかもしれませんのが、かなりインターネットで購入される方が多い気がします。</p>
委員	<p>アンケートの対象の中に高等学校が含まれていませんが、国の子ども読書活動推進基本計画は0歳から18歳が対象のはずです。国の計画を受けて県が計画を立て、それをもとに市が計画を作っていくなかで、高校については県の計画に含むということかもしれないですが、日進には高校があり、図書館には高校生も来館される状況ですから、高校生の読書の実態の把握についてはどうなるのかと思いました。</p>

事務局	日進市立図書館の児童サービスの対象が中学生までということを考慮して、今回はアンケートの対象を小中学生までとさせていただきました。市内の高校に通う生徒の半数は市外からの通学ということもあります、高校については直接学校へ活動調査を実施させていただく予定です。
委員	市町村の子ども読書活動計画については策定方法について調べていきたいが、もともと国の計画からきているので、対象年齢が0歳から18歳になります。日進市のなかでも16歳から18歳に対して別の管轄がサービスするにせよ高校生に対する計画は盛り込んでいく必要はあると思いますので、ご検討いただければと思います
事務局	ご提案につきましては検討させていただきます。子ども読書計画については県、既に他市町でも多く策定されているので、状況を把握しながら参考にしていきたいと思っています。また、あらためて計画は立ててはいなくとも市独自のブックスタートの実施や、中学・高校向けのヤングアダルト関連資料の充実、民間団体、読み聞かせボランティア団体との協力のうえで実施している事業なども多くあります。そういうものも実態把握しながら計画策定をしていきたいと考えております。
委員長	それでは「その他」について事務局から連絡をお願いします。
事務局	図書館協議会の第2回目について、皆さんに日程をお伺いしたいと思います。皆さん、他の行事等が入ってくるかと思いますが、今のところ11月中旬くらいに予定しています。今年度は、子ども読書活動推進計画に関連する視察内容を予定しておりますので、皆さんのご都合をお伺いさせていただきます。（委員と事務局で各日程を調整）それでは、19日の午後ということで予定させていただきますのでよろしくお願ひいたします。視察先につきましては、委員の皆様の方で情報などがありましたらお知らせいただければと思います。事務局としては子ども読書活動推進計画でも参考にさせていただいた岡崎市という案があります。
委員長	それでは、本日の議題はこれで終了となりますので、この後、事務局から連絡事項がありましたらお願いします。
事務局	事務局からの連絡は特にございません。 これをもちまして、第1回図書館協議会を終了します。ありがとうございました。
	午後4時50分終了